※令和４年度以降入学生用

学校番号	1017

令和５年度　コミュニケーション研究科

教科	コミュニケーション研究	科目	カウンセリング基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、
1. カウンセリングの考え方・基本的な技術を身につける
2. ストレスマネジメントを学ぶ
3. アサーショントレーニングを学ぶ
以上３つのテーマにあった各種ゲーム・各種検査　・ロールプレイ等を取り入れながら、円滑な人間関係構築を目標としています。積極的にペアワークやグループワークに参加しましょう。

２　学習の到達目標

カウンセリングの考え方と技術を学び、それを生活や仕事や子育てなどに活かせる事を目標とする。話す・聞く・仲間と協力する・自分を見つめる、の４つの観点を重視し体験学習等を通して育成する。また、日常の生活の中で受けるストレスの対処法及び、アサーショントレーニングを学び生活の場で円滑な人間関係構築のために役立てたい。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	カウンセリングを活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに、円滑な対人関係ついて理解している。	カウンセリングに必要な話す、聞く、仲間と協力する、自分を見つめるを理解し、ペアワークやグループワークにおいて効果的に用いることができる。	日常生活とカウンセリングの関わりについて考えながら，主体的に活用し，円滑な対人関係を築くために自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	カウンセリング導入	カウンセリングの原点	a:カウンセリングの原点について正しく理解している c:カウンセリングの基礎知識の学習に、興味関心をもって取り組んでいる	提出物		提出物 振り返りシート
	カウンセリング理論	共感、保証、促し、繰り返し、言い換え、要約、明確化、沈黙、質問他、カウンセリングの用語、コラージュに取り組む	a:カウンセリングの理論について正しく理解することができている b:ペアワークやグループワークにおいてカウンセリング理論を効果的に用いることができる。 b:コラージュの作品を通して自分を表現することができる c:カウンセリング理論について興味・関心を持ち深く理解しようとしている。	提出物 小テスト	提出物 作品 ペアワーク グループワーク	提出物 振り返りシート
2学期	ストレスマネジメント	ストレスとは何か、ストレス対処法、ストレスの力を弱くしたり、なくす方法	a:ストレスマネジメントについて正しく理解することができている b:ストレスマネジメントの方法を効果的に用いることができる c:ストレスマネジメントについて興味・関心を持ち深く理解しようとしている。	提出物	提出物	提出物 振り返りシート
3学期	アサーション	ストレッサーに対するアサーション行動 コラージュに取り組む	a:アサーションについて正しく理解することができている b: ペアワークやグループワークにおいてアサーション行動を効果的に用いることができる。 c:アサーションについて興味・関心を持ち深く理解しようとしている。	提出物 小テスト	提出物 作品 ペアワーク グループワーク	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用